

根来山げんきの森だより 203号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

冬のネイチャーゲーム

～冬の森で見つけてみよう！遊んでみよう！～
ゲームの後はたき火を囲んでぜんざいを食べましょう(^▽^)/日時：令和5年2月26日（日）
13：00～15：00（受付12：30～）

場所：県立森林公園 根来山げんきの森

集合：根来山げんきの森 管理棟前

参加費：大人 ¥400 子ども ¥300
(4歳以上) (教材費・保険代含む)

定員：20名 (先着)

申込先：根来山げんきの森管理棟

TEL 0736-61-7233



ウメ (バラ科)



今月で紹介するのはウメ。この花をご存じない方はほとんどいらっしゃらないと思います。早春の花のイメージですが、南国和歌山では1月末から花を咲かせ始めます。東北まで行くとサクラとほとんど同じ頃にならないと花を咲かせないそうですが。

中国原産ですが、奈良時代にはすでに日本に入っていたようです。弥生時代にもたらされたという説もありますから、稲作と同じ頃に朝鮮半島経由で入ってきたのかもかもしれません。

花よりも梅の実の酸味を調味料や薬として使われていたと考えられています。「いい塩梅」とは物事が上手くいった状態を表しますが、元は塩味とウメの酸味による味付けが上手くいったときに使われた言葉だそうです。

ご存知のように和歌山県は日本一のウメの産地。南高梅が有名です。

ウメは自家不和合といって、自分の花粉で自分の花を受精させることができません。ですから、南高梅という品種のウメを受粉させるためには古城（こじろ）など別の品種のウメの花粉が必要です。

別の品種の花粉で受粉しても果肉の部分は母型の遺伝子によって太るので南高梅の実がなります。でも、種子は母方と父方の両方の遺伝子によってできあがるので、南高梅の種子を蒔いても南高梅にはなりません。これは、ピワやカキ、モモなどについても同じことが言えます。

昆虫があまり飛ばない寒い季節に咲くウメが受粉するためには、数少ない昆虫を呼び寄せる必要があるので強い香りを風に乗せて遠くからミツバチなどを呼び寄せています。西洋ミツバチは寒さが苦手ですが、ニホンミツバチは真冬でも晴れた日は飛び回って花粉を集めるので、ウメも実を付けることができるのです。

バリアフリートレイル入り口にあるウメはすでにたくさんの花を咲かせていますので、いい香りをお楽しみください。

2 / 1 1 (土・祝)

旧暦の小正月に七草粥とお餅つき

根来山げんきの森では、毎年旧正月の時期に合わせて七草がゆとお餅つきを楽しむ会を開催しています。白いお餅だけでなく、ヨモギ餅やゴギョウ餅などいろいろなお餅をつきます。

日時：令和5年2月11日(土・祝)
9:30～13:00

参加費：大人 500円
小・中学生 300円
(幼児は無料)

定員：50名

(定員になり締め切りました)



根来山げんきの森 1月・2月の催し

根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- | | | |
|---------|--------|---------------------|
| 1月7日(土) | 9:00～ | 開園 |
| | 13:00～ | 自然観察会 |
| | 16:00～ | 運営会 |
| 8日(日) | 9:30～ | 子ども昆虫調査隊 |
| 14日(土) | 8:00～ | お試し森のようちえん |
| 15日(日) | 9:30～ | 定例活動 |
| 28日(土) | 9:30～ | 岩出市教育委員会
子ども自然体験 |
| | 9:30～ | 竹細工同好会 |
| | 13:00～ | 木工同好会 |
| 2月4日(土) | 13:00～ | 自然観察会 |
| | 17:00～ | 運営会 |
| 11日(土) | 9:30～ | 七草餅つき |
| | 13:00～ | 森のようちえん お餅つき |
| 19日(日) | 9:30～ | 定例活動 |
| 25日(土) | 9:30～ | 竹細工同好会 |
| | 13:00～ | 木工同好会 |
| 26日(日) | 13:00～ | 冬のネイチャーゲーム |

それぞれの活動のお問い合わせ、申込みは事務局または管理棟 (Tel&FAX 0736-61-7233) まで。火曜定休日
事務局 E-mail: forest-o@ares.eonet.ne.jp

2 / 4 (土) 自然観察会

冬真っ只中の季節ですが、春の準備を始めた森を倶楽部員と歩きましょう。

日時：2月4日(土) 13時～15時

参加費：200円 (小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へ。

令和4年12月 作業日誌

活動日：令和4年12月18日(日)

9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：38人

【里山整備】 10:00～15:00

本日は7名で遊歩道沿いの立ち枯れしたクヌギの伐採を行いました。

この日のげんきの森は雪景色。風が吹きすさぶ日陰なので、みんな早く体を動かして温まりたい！と早速作業に取り掛かります。

プロの手により見事に狙ったおりの角度に倒されたくぬぎを、炭材用にカットしていきます。作業中は寒さも忘れてがんばり、午前中に3本のクヌギを処理しました。

これらは、カシノナガキクイムシの被害を受けて枯れた木で、断面にはナラ菌の浸食部分が黒く変色していました。げんきの森でも被害が広がっているようです。

午後からは門松用の竹を切りに行きました。冬らしい寒さの中、だんだんと年の瀬を感じる作業日となりました。

(神浪佐知子)



【うるし谷整備】 10:00～15:00

12月は忠臣蔵の映画を見て楽しんだ世代の人たち5名でイノシシに荒らされた溝の修復作業、大げさに言えばこぶし川の護岸工事を行いました。

あらかじめ準備してあった杭の打ち込みですが、なかなか深くは打ち込めません。位置を変えて再び打ち込むということは何度も繰り返しながらの作業です。次に横木を並べ、横木が外れないように石を置きます。これを繰り返して午前の作業は終わりました。

午後は3人で横木の所に積んであった石の上にいる谷の



盛り上がった部分の土を削り取ってかぶせました。これで本日分の作業約4mの補修は終了しました。

小雪の舞う中、みなさん一生懸命での作業、感謝！感謝！です。(山口)